

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

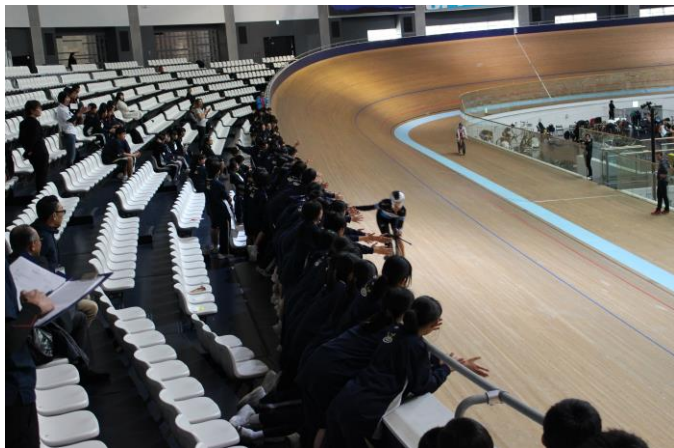
- 1 学校名：伊豆の国市立大仁中学校
- 2 実施日時：2017（平成 29）年 11 月 17 日（金）14：20-16：00
- 3 会場：伊豆ベロドローム
- 4 対象：1 年生 144 名

5 事業内容

2017（平成 29）年 11 月 17 日（金）に、伊豆ベロドロームにて、伊豆の国市立大仁中学校の生徒 144 名とジャパンパラサイクリングカップ 2017（11 月 18 日（土）、19 日（日）開催）に出場する 6 か国（アメリカ、韓国、チェコ、ドイツ、日本、ポーランド：50 音順）の選手約 20 名との「絆」交流会が実施されました。今回の事業の目的は、「オリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関する学びを通して、オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、スポーツを通して心と体を鍛え、世界中の人々と交流して平和な世界を築いていこうとする精神を育成する」ことでした。

今回の事業を実践するにあたり、生徒たちは 2 回にわたる事前学習を行いました。1 回目は、パラサイクリング交流イベントとして、2016 年にパラサイクリング日本選手権大会の 3km 個人パーシュートで優勝された川本翔大選手を大仁中学校にお招きし、川本選手自身の経験やパラサイクリング競技のルール等についてお話をさせていただきました。2 回目は、「絆」交流会に向けて、6 か国の選手への応援メッセージを記した横断幕の作成やパラサイクリングの競技体験を実施しました。

事業当日、生徒たちは、伊豆ベロドロームに入場した後、ジャパンパラサイクリングカップ 2017 大会前日の公開練習を見学しました。公式競技場での選手のパフォーマンスを見て、生徒たちはそのスピードと迫力に興奮を隠すことができない様子でした。また、観客席とコースとの距離が非常に近く、コースの外側を走る外国人選手とハイタッチを交わす姿も見受けられました。他にも、事前学習で作成した横断幕を掲げながら、練習する選手たちに精一杯声援を送っている姿が印象的でした。



【外国人選手とハイタッチする生徒たち】



【事前学習で作成した横断幕を掲げる生徒たち】

公開練習の見学後、生徒たちは競技場内に移動して、選手たちとの「絆」交流会を行いました。生徒たちは、ローマ字表記の名前と自身の趣味に関する絵をかいた名札を首にさげ、班ごとに指定された2か国の選手たちと英語でコミュニケーションを図りました。はじめに、生徒たちが自己紹介をした後、日本や伊豆の国市の文化や歴史について説明を行いました。アメリカ、韓国、チェコ、ドイツの選手に対して、みそ汁や伊豆の国市の温泉でつくられた温泉卵の写真をプリントアウトして、熱心にプレゼンを行ったり、トレーニング用の自転車をこいでいるポーランドの選手に練習内容を尋ねたりする生徒たちの姿がありました。外国人選手に名前を呼んでいただきながら楽しくコミュニケーションを深めている様子が多くみられました。

交流会後の生徒たちは、どこか自信に満ちた表情をしているようでした。今回の事業を通して、オリンピック・パラリンピック教育による国際交流の可能性を改めて感じることができました。



【アメリカの選手と交流する生徒たち】



【韓国の選手と交流する生徒たち】



【チェコの選手にサインしてもらう生徒】



【ドイツの選手と交流する生徒たち】



【日本の選手と交流する生徒たち】



【ポーランドの選手と交流する生徒たち】